



消化器内視鏡先端医療支援講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2019-04-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000865

高木基行, 原田将太. TL-HEX 入力方法. 第 2 回裏磐梯イリザロフ法セミナー; 20170730; 福島.

加藤成隆. 海外派遣報告① ILLRS CONGRESS MIAMI 2015. 第 23 回日本運動器再建・イリザロフ法研究会; 20170909; 金沢.

松下 隆. OLHS 固定による術直後 full weight bearing への挑戦. Hip Fracture Seminar 2017; 20170916; 神戸.

加藤成隆. ヒンジの置き方とフレームの組み方. 鹿児島 TRUELOK イリザロフ法ベーシックセミナー; 20171119; 鹿児島.

加藤成隆. ワイヤーの打ち方、フレームの組み方. 鹿児島 TRUELOK イリザロフ法ベーシックセミナー; 20171118; 鹿児島.

高木基行. 一時的骨折創外固定術 牧野牽引. 鹿児島 TRUELOK イリザロフ法ベーシックセミナー; 20171118; 鹿児島.

竹中信之. イリザロフ創外固定法の基礎と歴史. 鹿児島 TRUELOK イリザロフ法ベーシックセミナー; 20171118; 鹿児島.

寺本 司, 浅原智彦. 脛骨遠位端・近位端のマルチプルワイヤー固定. 鹿児島 TRUELOK イリザロフ法ベーシックセミナー; 20171118; 鹿児島.

原田将太. Hexapod を使った変形矯正の実際 大腿・下腿. 鹿児島 TRUELOK イリザロフ法ベーシックセミナー; 20171119; 鹿児島.

松下 隆. 変形矯正の基本的な考え方. 鹿児島 TRUELOK イリザロフ法ベーシックセミナー; 20171119; 鹿児島.

消化器内視鏡先端医療支援講座

論 文

〔原 著〕

Watanabe K, Hikichi T, Nakamura J, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Waragai Y, Kikuchi H, Konno N, Asama H, Takasumi M, Sato Y, Obara K, Ohira H. Feasibility of esophageal stent fixation with an over-the-scope-clip for malignant esophageal strictures to prevent migration. Endoscopy International Open. 2017; 5(11):E1044-E1049.

Watanabe K, Hikichi T, Nakamura J, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Waragai Y, Kikuchi H, Konno N, Asama H, Takasumi M, Obara K, Ohira H. Endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in very elderly patients age 85 or older. *Endoscopy International Open*. 2017; 5(1):E17-E24.

Takasumi M, Hikichi T, Takagi T, Suzuki R, Watanabe K, Nakamura J, Sugimoto M, Kikuchi H, Konno N, Waragai Y, Asama H, Obara K, Ohira H. Efficacy of endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration for schwannoma: six cases of a retrospective study. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2017; 63(2):75-80.

Nakamura J, Hikichi T, Watanabe K, Sato M, Obara K, Ohira H. Feasibility of short-period, high-dose intravenous methylprednisolone for preventing stricture after endoscopic submucosal dissection for esophageal cancer: a preliminary study. *Gastroenterology Research and Practice*. 2017; 2017:9312517.

Working Subgroup for Clinical Practice Guideline for Aberrant Portal Hemodynamics: Moriyasu F, Furuichi Y, Tanaka A, Takikawa H, Yoshida H, Sakaida I, Obara K, Hashizume M, Kage M, Ohfuji S, Kitano S, Kokubo S, Matsutani S, Eguchi S, Shimoi S, Kojima T, Maehara Y, Kuniyoshi Y. Diagnosis and treatment guidelines for aberrant portal hemodynamics: The Aberrant Portal Hemodynamics Study Group supported by the Ministry of Health, Labor and Welfare of Japan. *Hepatology Research*. 2017; 47(5):373-386.

福島京子, 佐藤寿子, 渡邊祐子, 玉坂洋子, 佐藤里美, 坂本弘明, 小原勝敏. 逆流性食道炎と食道裂孔ヘルニア発症における危険因子の検討. *日本人間ドック学会雑誌*. 2017; 32(3):517-524.

〔総説等〕

小原勝敏. 食道静脈瘤の治療戦略 EIS 手技の極意と局注針に求められる機能. *Essence of GI treatment* (オリンパス株式会社) . 2017; 3:1-3.

小原勝敏. 食道静脈瘤の所見 (L, F, C, RC, BS, MF) . *胃と腸*. 2017; 52(5):714-715.

引地拓人, 菊地 眸, 中村 純, 渡辺 晃, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 藁谷雄一, 紺野直紀, 浅間宏之, 高住美香, 佐藤雄紀, 佐藤匡記, 入澤篤志, 大平弘正, 小原勝敏. 胃粘膜下腫瘍の組織生検法. *胃と腸*. 2017; 52:1301-1315.

引地拓人, 小原勝敏, 渡辺 晃, 高木忠之, 鈴木 玲, 中村 純, 杉本 充, 紺野直紀, 菊地 眸, 高住美香, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大平弘正. 胃静脈瘤の内視鏡治療. *消化器・肝臓内科*. 2017; 2:526-533.

小原勝敏. 胃静脈瘤に対する内視鏡治療と IVR. *消化器内視鏡*. 2017; 29(3):424-429.

引地拓人, 菊地 眸, 渡辺 晃, 中村 純, 大平弘正, 小原勝敏. 上部消化管内視鏡 治療 PEG 挿入手技と交換法. *消化器内視鏡*. 2017; 29(3):466-473.

小原勝敏. 門脈圧亢進症を疑う胃腸所見. *消化器内視鏡*. 2017; 29(4):788-792.

引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 小原勝敏. 患者にやさしい経口内視鏡の前処置と鎮静は、これだ！
消化器内視鏡. 2017; 29(6):975-976.

小原勝敏. 理論的に考えよう！食道静脈瘤治療. 消化器内視鏡. 2017; 29(6):996-998.

引地拓人, 小原勝敏, 高木忠之, 鈴木 玲, 渡辺 晃, 中村 純, 杉本 充, 菊地 眸, 紺野直紀, 大平弘正. 消化器内視鏡診療時の鎮静と偶発症とその対策. 消化器内視鏡. 2017; 29:1309-1309.

小原勝敏. 内視鏡データリファレンスブック 2017 孤立性胃静脈瘤. 消化器内視鏡. 2017; 29(8):1352-1358.

小原勝敏. 内視鏡データリファレンスブック 2017 異所性静脈瘤. 消化器内視鏡. 2017; 29(8):1546-1551.

小原勝敏. 食道・胃静脈瘤に対する内視鏡治療における偶発症と発生時の対応. 消化器内視鏡. 2017; 29(11):2002-2006.

小原勝敏. 胃・食道静脈瘤. 診断と治療. 2017; 105(suppl):9-21.

渡辺 晃, 引地拓人, 小原勝敏, 高木忠之, 紺野直紀, 大平弘正. 静脈瘤出血へのアプローチ. 臨床消化器内科. 2017; 32:301-306.

小原勝敏. 内視鏡診療における鎮静ガイドライン 鎮静による医療事故を防止するために. 臨床麻酔. 2017; 41(12):1605-1615.

〔その他〕

小原勝敏. 理事長メッセージ 2017. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 2017; 23(1):3-8.

著 書・訳 書

小原勝敏. 食道・胃静脈瘤. In: 猿田亨男, 北村惣一郎 監修. 1336 専門家による私の治療 2017-18 年度版. 東京: 日本メディカルセンター; 2017. p.363-365.

稲葉知己, 伊藤 透, 小原勝敏. 前処置・前投薬・Sedation. In: 日本消化器内視鏡学会 編. 消化器内視鏡ハンドブック改訂第2版. 東京: 日本メディカルセンター; 2017. p.66-74.

小原勝敏. 食道・胃静脈瘤. In: 矢崎義雄 総編集. 内科学 11 版 III. 東京: 朝倉書店; 2017. p.913-917.

研究発表等

〔研究発表〕

Yanagita T, Watanabe K, Hikichi T, Nakamura J, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Waragai Y, Kikuchi H, Konno N, Asama H, Obara K, Ohira H. Endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in very elderly patients age 85 or older. DDW2017; 20170507; Chicago, USA.

Waragai Y, Hikichi T, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Asama H, Obara K, Ohira H. Factors related to procedure time in gastric ESD. DDW2017; 20170508; Chicago, USA.

Waragai Y, Suzuki R, Takagi T, Sugimoto M, Konno N, Asama H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Hikichi T, Masamune J, Kang Y, Fleming JB, Ohira H. Clinical significance of serum Wisteria floribunda agglutinin-positive Mac-2 binding protein in pancreatic ductal adenocarcinoma. DDW2017; 20170509; Chicago, USA.

Hikichi T, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Waragai Y, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Asama H, Sato Y, Yanagita T, Ohira H, Obara K. Efficacy and safety of propofol sedation in endoscopic submucosal dissection of early gastric cancer. DDW2017; 20170509; Chicago, USA.

Nakamura J, Hikichi T, Watanabe K, Kikuchi H, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Takasumi M, Sato Y, Obara K, Ohira H. Efficacy and safety of per-oral endoscopic myotomy for esophageal achalasia. DDW2017; 20170509; Chicago, USA.

Irie H, Hikichi T, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Takasumi M, Sato Y, Obara K, Ohira H. A case of segmental absence of muscle layer with perforation caused on endoscopic submucosal dissection in circumferential esophageal cancer. APDW2017; 20170926; Hong Kong, China.

Hikichi T, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Takasumi M, Sato Y, Irie H, Ohira H, Obara K. Effectiveness of Advanced Image Multiple Enhancement (AIME) system for gastrointestinal endoscopic diagnosis using structure-enhanced function. APDW2017; 20170926; Hong Kong, China.

Nakamura J, Hikichi T, Watanabe K, Kikuchi H, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Takasumi M, Sato Y, Irie H, Obara K, Ohira H. Efficacy and safety of peroral endoscopic myotomy for esophageal achalasia. APDW2017; 20170926; Hong Kong, China.

紺野直紀, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 浅間宏之, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 佐藤雄紀, 小原勝敏, 大平弘正. 膵嚢胞内出血に対する亜全胃温存膵頭十二指腸切除術施行後の切除標本にて胆管癌の合併を認めた1例. 第202回日本消化器病学会東北支部例会; 20170204; 仙台. プログラム・抄録集. 63.

菊地 眸, 引地拓人, 高木忠之, 鈴木 玲, 渡辺 晃, 中村 純, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 小原勝敏, 大平弘正. EUS-FNAによる胃 GIST 診断症例の臨床経過の検討. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20170203; 仙台. プログラム・抄録集. 79.

佐藤雄紀, 引地拓人, 中村 純, 渡辺 晃, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 小原勝敏, 大平弘正. 食道アカラシアに対し内視鏡的筋層切開術(POEM)が有効であった Allgrove 症候群の1例. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20170203; 仙台. プログラム・抄録集. 82.

鈴木 玲, 高木忠之, 引地拓人, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 小原勝敏, 大平弘正. 転移性脾腫瘍診断における超音波内視鏡ガイド下生検の検査成績についての検討. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20170203; 仙台. プログラム・抄録集. 90.

渡辺 晃, 引地拓人, 中村 純, 藁谷雄一, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 高住美香, 小原勝敏, 大平弘正. 悪性食道狭窄に対する OTSC を用いた食道ステント留置術の有用性. 第 13 回日本消化管学会総会学術集会; 20170217; 名古屋. プログラム・抄録集. 220.

藁谷雄一, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 高住美香, 小原勝敏, 大平弘正. 胃 ESD 後潰瘍に対するポリグリコール酸シートを用いた内視鏡的被覆の有用性と課題. 第 13 回日本消化管学会総会学術集会; 20170217; 名古屋. プログラム・抄録集. 221.

中村 純, 引地拓人, 渡辺 晃, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 高住美香, 南ひとみ, 井上晴洋, 小原勝敏, 大平弘正. 食道アカラシアに対する内視鏡的筋層切開術(POEM)の導入と治療成績. 第 13 回日本消化管学会総会学術集会; 20170218; 名古屋. プログラム・抄録集. 270.

柳田拓実, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 藁谷雄一, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 高住美香, 小原勝敏, 大平弘正. EUS-FNA が診断に有用であった EB ウイルス関連リンパ球浸潤胃癌の 1 例. 第 13 回日本消化管学会総会学術集会; 20170217; 名古屋. プログラム・抄録集. 281.

中村 純, 引地拓人, 渡辺 晃, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 藤原和雄, 小原勝敏, 大平弘正, 福島市胃がん検診読影委員会. 福島市における対策型胃内視鏡検診の有用性と問題点. 第 89 回日本胃癌学会総会; 20170309; 広島. 日本胃癌学会総会記事 89 回. 384.

中村 純, 引地拓人, 渡辺 晃, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 小原勝敏, 大平弘正. 内視鏡的筋層切開術の新規導入施設からみた食道アカラシア診療の展望. 第 103 回日本消化器病学会総会; 20170420; 東京. 日本消化器病学会雑誌. 114(臨増):A268.

高木忠之, 小原勝敏, 引地拓人, 鈴木 玲, 渡辺 晃, 中村 純, 杉本 充, 菊地 眸, 紺野直紀, 藁谷雄一, 浅間宏之, 高住美香, 大平弘正. 当施設における Budd-Chiari 症候群合併静脈瘤に対する治療と経過. 第 103 回日本消化器病学会総会; 20170422; 東京. 日本消化器病学会雑誌. 114(臨増):A376.

紺野直紀, 引地拓人, 小原勝敏. 食道・胃静脈瘤治療の決定版～内視鏡治療を第一選択とする立場から. 第 93 回日本消化器内視鏡学会総会; 20170512; 大阪. Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl 1):760.

浅間宏之, 鈴木 玲, 高木忠之, 引地拓人, 渡辺 晃, 杉本 充, 中村 純, 紺野直紀, 菊地 眸, 小原勝敏, 大平弘正. ERCP で診断困難な胆道系疾患に対する EUS-FNA の有用性についての検討. 第 93 回日本消化器内視鏡学会総会; 20170512; 大阪. Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl 1):994.

綿引 優, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 藁谷雄一, 浅間宏之, 高住美香, 佐藤雄紀, 小原勝敏, 大平弘正. ESD を施行した pSM2 胃癌の予後の検討. 第 93 回日本消化器内視鏡学会総会; 20170512; 大阪. Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl 1):1002.

渡辺 晃, 引地拓人, 杉本 充, 紺野直紀, 藁谷雄一, 浅間宏之, 高木忠之, 鈴木 玲, 中村 純, 菊地

眸, 佐藤雄紀, 小原勝敏, 大平弘正. 肝硬変患者の食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法におけるプロポフォー
ルおよびミタゾラムによる鎮静の無作為ランダム化比較試験. 第 93 回日本消化器内視鏡学会総会; 20170512; 大
阪. Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl 1):1010.

川島一公, 引地拓人, 中村 純, 片倉響子, 藤原達雄, 郡司直彦, 横川綾希, 小原勝敏, 大平弘正. 大腸
ESD におけるオーバーチューブ留置の有用性と問題点. 第 93 回日本消化器内視鏡学会総会; 20170511; 大阪.
Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl 1):1050.

柳田拓実, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 藁谷雄一, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直
紀, 浅間宏之, 高住美香, 佐藤雄紀, 小原勝敏, 大平弘正. 抗血小板 2 剤併用療法施行令における胃 ESD の現
状と課題. 第 93 回日本消化器内視鏡学会総会; 20170511; 大阪. Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl
1):1065.

高畑陽介, 渡辺 晃, 引地拓人, 中村 純, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄
紀, 小原勝敏, 大平弘正. 化学療法とステロイド投与が奏功した IGF-II 産生進行胃癌による非ラ氏島細胞腫由来
低血糖(Non-islet cell tumor hypoglycemia: NICTH)の 1 例. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会・第 159 回
日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20170630; 盛岡.

中村 純, 引地拓人, 鈴木 秀, 渡辺 晃, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄
紀, 高住美香, 小原勝敏, 大平弘正. 川俣町における胃がんリスク検診の現状と課題. 第 203 回日本消化器病学
会東北支部例会・第 159 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20170630; 盛岡.

藁谷雄一, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏
之, 高住美香, 佐藤雄紀, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. ボノプラザンを用いた H.pylori 除菌治療の現状. 第
203 回日本消化器病学会東北支部例会・第 159 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20170630; 盛岡.

佐藤雄紀, 引地拓人, 中村 純, 菊地 眸, 渡辺 晃, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 高住美
香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 当院における胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術の現状. 第
203 回日本消化器病学会東北支部例会・第 159 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20170701; 盛岡.

紺野直紀, 小原勝敏, 引地拓人. 胃静脈瘤の EIS~我々はこうしている~. 第 24 回日本門脈圧亢進症学会総会;
20170915; 東京.

佐藤雄紀, 高木忠之, 引地拓人, 鈴木 玲, 渡辺 晃, 中村 純, 杉本 充, 菊地 眸, 紺野直紀, 高住美
香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 肝外門脈閉塞症に合併した小腸静脈瘤に対してダブルバルーン内視鏡を用
いて内視鏡的硬化療法にて治療しえた 1 例. 第 24 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20170915; 東京.

佐藤雄紀, 鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 高住美
香, 入江大樹, 小原勝敏, 引地拓人, 大平弘正. 十二指腸乳頭部病変に対する EUS-FNA の意義について. 第
53 回日本胆道学会学術集会; 20170928; 山形. プログラム・抄録集. 468.

菊地 眸, 引地拓人, 高木忠之, 鈴木 玲, 渡辺 晃, 中村 純, 杉本 充, 紺野直紀, 高住美香, 佐藤雄
紀, 小原勝敏, 大平弘正. L-メントール製剤による早期胃癌の明瞭化上乘せ効果の客観的検証. 第 94 回日本消化
器内視鏡学会総会(JDDW2017); 20171012; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl 2):2136.

浅間宏之, 鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 佐藤雄紀, 小原勝敏, 大平弘正. Solid-pseudopapillary neoplasm の術前診断における EUS-FNA の有用性. 第 94 回日本消化器内視鏡学会総会(JDDW2017); 20171012; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl 2):2146.

紺野直紀, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 浅間宏之, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 佐藤雄紀, 小原勝敏, 大平弘正. 治療困難な総胆管結石に対する内視鏡的治療の現状. 第 94 回日本消化器内視鏡学会総会(JDDW2017); 20171013; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl 2):2192.

佐藤雄紀, 引地拓人, 中村 純, 菊地 眸, 渡辺 晃, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 高住美香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術の現状. 第 94 回日本消化器内視鏡学会総会(JDDW2017); 20171014; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl 2):2199.

渡辺 晃, 引地拓人, 中村 純, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 浅間宏之, 佐藤雄紀, 小原勝敏, 大平弘正. 診断的治療としての胃 ESD の意義. 第 94 回日本消化器内視鏡学会総会(JDDW2017); 20171014; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 59(Suppl 2):2233.

〔シンポジウム〕

渡辺 晃, 引地拓人, 中村 純, 小原勝敏, 大平弘正. 悪性食道狭窄に対する over-the-scope-clip(OTSC)を用いた食道ステント留置術の有用性. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20170203; 仙台. プログラム・抄録集. 61.

中村 純, 引地拓人, 渡辺 晃, 小原勝敏, 大平弘正. 内視鏡的筋層切開術(POEM)の新規導入施設からみた食道アカラシアの治療戦略. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会; 20170204; 仙台. プログラム・抄録集. 14.

引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 藁谷雄一, 大平弘正, 小原勝敏. 全周性食道癌における ESD の剥離時に穿孔をきたし術後の狭窄解除に難渋した 1 例. 第 13 回日本消化管学会総会学術集会; 20170217; 名古屋. プログラム・抄録集. 210.

小原勝敏. 内視鏡の鎮静と医療事故. 第 37 回日本臨床麻酔学会/第 24 回日本麻酔・医事法制研究会; 20171104; 東京.

〔特別講演〕

小原勝敏. 消化管静脈瘤治療の現状. 第 1 回北陸門脈亢進症研究会; 20170303; 金沢.

小原勝敏. 胃がん検診の重要性について. 第 29 年度がん検診推進員スキルアップ研修会; 20170802; 郡山.

小原勝敏. 理事長からのメッセージ 2017. 第 24 回日本門脈亢進症学会総会; 20170915; 東京.

小原勝敏. 胃がん検診の重要性について. 第 29 年度がん検診推進員スキルアップ研修会; 20170927; 白河.

小原勝敏. 日本門脈亢進症学会の現状. 第 1 回東北門脈亢進症研究会; 20170930; 福島.

〔招待講演〕

小原勝敏. 内視鏡診療における鎮静ガイドラインについて 鎮静に関する訴訟事例も含めて. 第30回日本消化器内視鏡学会九州セミナー; 20170129; 福岡.

〔その他〕

小原勝敏. より安全な鎮静のための“Advanced Monitoring”. 第93回日本消化器内視鏡学会総会; 20170511; 大阪.

小原勝敏. 門脈圧亢進症治療の最前線. 第21回日本肝臓学会大会(JDDW2017); 20171012; 福岡.

小原勝敏. Esophagus II. 第94回日本消化器内視鏡学会総会(JDDW2017); 20171013; 福岡.

会津医療センター 総合内科学講座

論 文

〔原 著〕

齋藤拓朗, 小坂橋真由美, 添田暢俊, 横山秀二, 鈴木啓二. 医療事故調査制度への対応: 患者死亡時のチェックリスト運用について. 安全医学. 201703; 13(2):15-20.

〔その他〕

鈴木啓二. 世界で最も住みやすい都市. すずらん. 2017; (37):3-6.

鈴木啓二. 総合内科と専門科. 福島民報 (新聞). 20170723; 8.

研究発表等

〔研究発表〕

坪 敏仁, 古田大河, 鈴木雅雄, 須貝道博, 上野孝治, 鈴木朋子, 佐橋佳郎, 小宮ひろみ, 三瀧忠道. 桂枝去芍薬加そう莢湯を用いた湯液治療と鍼灸治療が有用と思われたび慢性汎気管支炎の1症例. 第68回日本東洋医学会学術総会; 20170604; 名古屋.